

冬が来た！冬鳥たちもやって来た！！ 冬の調布は鳥見三昧



調布市には南部を流れる多摩川の他、野川、仙川といった複数の河川があります。これらの水面や水辺には、カモ類をはじめとする多くの鳥類が生息しています。特に多摩川市民広場あたりの川面では、ヒドリガモやカルガモ、マガモ、コガモなどのカモ類やオオバン、ユリカモメなどの水鳥がみられます。

また、時折カワセミが鳴きながら河川に沿って飛んで行ったりもします。川岸の河原ではセキレイの仲間やイソシギが餌を探しながら歩いています。堰の上ではサギの仲間やカワウが群れており、送電線に等間隔に並んで止まるカワウは見ものです。



ユリカモメ



おでこが禿げたように白く全身真っ黒なオオバン



シラサギの中で最も大きなダイサギ



浅瀬に群れる白鷺 (ダイサギ・コサギ)



岸辺の岩上でよくみられるイソシギ



大きな黒い体が目立つカワウ



シベリア等から群れて飛来し、田畑や林では1羽で生息するツグミ



お腹のオレンジ色と羽の白い紋が目立つジョウビタキ オス



田んぼが減った分、見かけることも減ったスズメの群れ

一方、市内に残された雑木林をはじめとする樹林地や公園緑地などの樹木、河川敷に広がる草地などにも鳥はやってきます。
ジョウビタキなどの小型のヒタキ類やツグミ、ムクドリ、ヒヨドリ、モズなどが代表的な鳥です。街中ではスズメも意外とゆっくり眺める機会は少ないです。



これからの時期、調布では「水辺の楽校」や「こどもエコクラブ」、「環境モニター」など、様々な団体が中心となって、バードウォッチングを企画していく予定です。この機会に、皆さんもぜひ一度、鳥をゆっくり眺めてみませんか？
(石川和宏)

2016年2月20日(土)
こどもエコクラブと
環境モニター 合同野鳥観察会
問合せ 調布市環境政策課
Tel 042-481-7086

花の履歴書 35
戸部英貞 (絵・文)

ユズリハ (譲葉)
ユズリハ科



Daphniphyllum macropodum

北海道から山陰にかけての日本海側にエゾユズリハ、福島県以西、四国、九州、沖縄の山地にはユズリハ、関東以西から沖縄、台湾の海岸林にヒメユズリハと日本全国どこにでもユズリハの仲間が見られ、一般には区別せずに「ユズリハ」と呼んでいる。

目立った花を咲かせる訳でもなく、日頃は取り立てて話題に上ることもない樹木だが、正月となると門松を立て、門口にはウラジロ、ダイダイ、ユズリハを付けた注連飾りをして年神様を迎えるのが、古くからの習わしだ。

さらに床の間には蓬萊(伊勢海老、昆布、勝栗、黒豆、串柿、ダイダイなどの縁起物を配したもの)や松竹梅、マンリョウ、センリョウなど瑞祥植物の生け花、めでたい掛け軸や置物で新春を飾る。

こんな正月の迎え方も近年は簡略化されてしまったが、ユズリハだけは正月飾りとして存在を示している。名前の語源は春に新しい葉が展開されてから古い葉が落ちることから、その様子を親が子を育て家督を譲り、家が代々続いていくように見立て、名付けられたものだが、ユズリハだけでなく、常緑樹は若葉が出てから落葉するのに、ユズリハが取り立てて縁起物とされ、正月の飾りや庭木に使われるのは訳がある。

『古名録』(1843)畔田伴存著に「ユズリ葉は春新葉生じて旧葉は落ちず。三年に及べる老葉黄落す」とあるそうだが、それならば祖父と父が見守る中で家督が受け継がれることになり、新年の縁起植物としてユズリハが使われる理由に納得させられる。

CHOFU
みどりの国分寺崖線ウォーク
2015. 11. 8 (日)

カニ山の会・ちょうふ環境市民会議 主催

仙川駅から4つの保全樹林を巡りながら国分寺崖線を歩くという、今月初めのウォークイベント。残念ながら数日前からの予報通り、雨となってしまう。それでも19名の参加者ほとんどがカニ山へゴール。参加賞の地元野菜を抱えて帰宅。後日行ったアンケートでも「保全作業に参加しなくては」「電車から見ていた森を歩いてうれしかった」など好評。こんな楽しいイベント、もっと多くの方々に参加していただきたい。



ゴールのテントで野菜を戴く。

雑木林保全のための安全管理講習会 11月28日

昨年に引き続き、市内の崖線樹林保全グループでつくる「雑木林連絡会」と「緑と公園課」による安全管理講習会が行われた。

樹木の切り倒しは木の重心を考慮し安全な方向を見定めて予定の場所に倒すことが大切。そのためにはロープをかけて思い通りの方向へ倒れるようにする。

松井講師による座学のおと、西調布駅から南へ下った凸凹森の会が保全管理をしている樹林地で実習開始。

①ロープは安全な方法で結び、②滑車を付けて他の樹木を支点にして引張るやり方もある。

③ノコギリの刃は地面に水平に、そして倒れる方向と平行に切っていく。受け口追いつく。

④切ったら④ゆっくりロープで引く。下の④の写真では右はじにある樹木を倒そうとしているところ。⑤は予定通りの方向に倒れた木。大きな木は伐採前に枝を落とすこともあるが、⑥これは倒木後、枝を処理し片付けた。

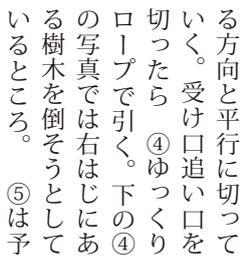
⑦最後はもちろん道具の手入れ。ヤニ落としを付けてハブラシ(刃ブラシかな)、又はお湯で洗い落した後、サビ止め液をかけておく。



①ロープ結びの技



②滑車を使って



③ノコギリの刃は地面に水平に、そして倒れる方向と平行に切っていく。受け口追いつく。切ったら④ゆっくりロープで引く。下の④の写真では右はじにある樹木を倒そうとしているところ。⑤は予定通りの方向に倒れた木。大きな木は伐採前に枝を落とすこともあるが、⑥これは倒木後、枝を処理し片付けた。



最後にゴールした方とスタッフで記念撮影

ちょうふの崖線樹林を守る

入間・樹林の会

10月18日(日) 曇り 参加者10名

方形柵調査と通路整備を行った。方形柵調査後のブチ違い(似た植物の見分け方)は、ドングリの形状と名称を教わった。樹林地内には、シラカシ、マテバシイ、クヌギ、コナラのドングリがあり、総苞の殻斗がリング状(ドングリの帽子が縞模様)とこの状態の違いがあることを確かめた。ケヤキ・ムクノキ・エノキの同定は永遠のテーマとする。



11月15日(日) 曇り時々雨のち晴れ 8名

雑木林ボランティア講座から新メンバーとして参加した方を含め3つに分かれて作業した。NTTとの隣接坂道からの降雨水による土の流出がひどくなってきたので遮断のために杭を利用して柵を応急的に作り様子を見ることとした。ツバキの森では風雨の影響で、枯れたシロタモが地上5mほどで幹折れしクヌギなどに引っかかっていたので市に連絡。スタッキングの山を片付けたのですっきりした。

花はヤツデ、ツワブキ、サザンカ。実はヒヨドリジョウゴ、ヤブミヨウガ、マンリョウ、センリョウ、クサギ、ヒナタイノコツチ。虫はミスジマイマイ、ジョロウグモ。鳥はヒヨドリ、カラス、シジユウカラ。(安部)



カニ山の会

10月10日(土) 曇り 参加者12名

東樹林の中段から上部について、サザリり剪定を行った。下段については、カニ山の会には連絡が無かったが、調布市の委託業者が枝の強剪定を行っており、林内の乾燥化の可能性を鑑み作業を見送った。業者作業の結果、林内から隣接住宅が見える状況であった。近隣の住民は、家の中が覗かれないように低木・中高木層を残して欲しい人も居住している。一部の人の剪定依頼だけに対応するのではなく、行政は、市民の声に耳を傾けながら、バランスの取れた方策を考えることが求められている。(活動報告より)



11月14日(土) 雨 参加者13名

雨のため「たづくり・みんなの広場」でみどりの国分寺崖線ウォーク(11月8日カニ山の会と環境市民会議の共催で開催)のふりかえりと来年度の活動について話し合った。

当日は雨だったためゴールの準備が間に合わなかったことなど色々反省点が出たが次回は大いに今回の経験を活かしたい。

来年度の活動については行政の安全管理計画に活かせるように、会としても様々な調査を行いながら具体的な管理計画を提案できるようにしていくこと、年2回程度イベントを開催し、近隣の理解を得たいなどの案が出された。

また会員勧誘と保全活動のPRにも力をいれていくこととした。(報治)

若葉の森3・1会

10月4日(日) 晴れ 参加者7名

ヒヤリ・ハット、危険箇所「第2緑地の通路が滑りやすい」対策実施。3月の伐採作業の枝や幹を利用して、横木を埋め込み、杭で固定し、2箇所の坂道を階段状にした。



横木の埋め込み

横木固定のための杭打ち

11月1日(日) 晴れ 参加者6名

初参加者1名、心強い。今年ほとんど雨が豊作、静かな夜に落ちる音が聞こえる。第1緑地と第2緑地間の階段側面のあて木が腐食、崩れる恐れがあり、竹を用いて補強した。杭と横木に竹を丸のまま使用するなど工夫して強度を保った。

なお、先月と今月の補修作業は、当会も協力団体の、8日の「みどりの国分寺崖線ウォーク」の会場の安全対策にもなった。

その他、切り取った竹の小枝を溜める落葉溜めの製作、六別坂落葉かき、ゴミ拾いを行った。(NOK)



牡蠣のようなキノコ



竹の階段側壁と落葉溜め

調布水辺の楽校

11月3日(祝) 晴れ!

『クリーンアップ&芋煮』を開催。調布市内の13の小学校から児童54名、大人46名の合わせて100名が参加。スタッフも含めて総勢130名弱。前日の雨から打って変わって晴れ間が広がり良い天気になりました。

最初に多摩川河川敷の秋の植物の観察を行い、講師から説明を受けてみんな聞き入っていました。子どもたちは、イナゴ取りにも夢中でしたが、布田小からワンドの辺りまで散策。天気も良くて気持ちよかったです。

帰り道は、ゴミ拾い。

思った以上に河川敷がきれいだったのでゴミも少なかったようです。戻ってからごみの分別を行い、いざ芋煮。布田小おやじネットのメンバーが大鍋で頑張ってくれました。

参加者の児童も父兄もとても美味しく頂きました。毎年ありがとう。

それから、イナゴ。約100匹近く獲れたでしょう。児童たちも手伝いながら佃煮にしておっかなびっくり食べました。感想は? 「美味しかった」だそうです。(水辺の楽校サポーター 池ノ内)

◆次回は1月23日(土) バードウォッチングです。またの参加をお待ちしております。



平成 27 年度 雑木林ボランティア講座 第 5 回 雑木林の恵で様々な遊びを体験



炭になった
ヤツデの花

火熾し・花炭作り

11月21日(土)
今回は実習体験を通して、雑木林の恵みや楽しさを実感してもらおう、という内容。午前中は佐須地域を歩いて小池講師から話を伺った。周辺の環境と深大寺用水の利用としてウナギの養殖場もあったこと、神代農場で雑木林の手入れの仕方による形態変化等の実験を行っていることなど、色々なお話を伺った。



③ 竹の切り出しは行わずに木の実や葉っぱなど各人で拾い集めた物を缶に入れた。



① 午後の火おこし実習は全員で枯れ木や枯葉を拾い集めるところから。20分ほどでこんなに集めた。

野外実習はボランティア講座の醍醐味。カマドの前で講師から着火のコツや花炭づくりについて説明を聞く。



④ フタがはずれないようにハリガネで縛り（ガスが発生するので圧力でフタがはずれやすい）缶ごと火に入れる。小さな穴を開けた所から黄色い煙がでてきたら完成。（およそ10分）仕上がりはどうかな？



② 空気が通りやすいよう、注意深く枝を交互に載せ、着火は枯葉に（特に松葉など針葉樹の葉が燃えやすい）。普段使わないマッチにも少しだけ緊張の面持ちだったが、充分乾いた物を拾ったことで、全員難無く着火に成功した。



上手に焼いた花炭は葉っぱや木の実の形がそのまま残る。そっと持ち帰れば脱臭剤を兼ねたお洒落な飾りに！



しめ縄作りついで飾り

佐須の地元でできた稲わらを使ってしめ縄を作ります。

12.13 (日) 12時～3時

場所 カニ山キャンプ場
(深大寺自然広場カマド前)
参加費 500円 (保険・温かい汁物付き)
先着30名
講師 田んぼの学校 校長 尾辻義和
申込 info@chofu-kankyo-shimin.org
または Tel 090-5558-1445
ちょうふ環境市民会議

雑木林で見つけた！ こんな生き物



なんてお洒落！
コエビガラスズメの幼虫。成虫は普通の茶色いガなのに…



ヒバカリ(ヘビ)の子供。水辺が好きらしいが湧水が近いカニ山なら…？

環境市民活動スケジュール

入間・樹林の会

原則毎月第3日曜に樹林の保全活動を行っています。参加希望者は直接入間地域センターへ。
●12/20(日) 9:30～12:30
●1/17(日) 9:30～15:00
1月は方形枠調査と新年会です。

カニ山の会

毎月第2土曜に自然広場で保全活動を行っています。野草園横直接集合
●12/12(土) 10:00～12:00
●1月は恒例の山開きを行います。

若葉緑地の会

原則毎月第2日曜に若葉町3丁目第3緑地で保全活動を行っています。参加希望者は直接現地へ。
●12/6(日) 臨時活動(足尾の鉾毒被害樹林の支援作業)
●12/13(日) 9:30～12:00
クリスマスリース作り
●1/10(日) 9:30～12:00

若葉の森3・1会

原則毎月第1日曜に若葉町3丁目第1・2緑地で保全活動を行っています。参加希望者は直接現地へ。
●12/6(日) 9:30～12:00
●1月の活動はお休みです。

凸凹森の会

●12月は活動はありません。
●1/24(日) 10:00～剪定伐採などの作業。12時からミーティングを兼ねた新年会(雨天時は10時から西部地域センターで話し合いと新年会)参加希望者は直接凸凹森へ。

先の4団体の保全活動問合せは緑ヶ公園課 042-481-7083

市民発 ちょうふの自然だより

◆「ちょうふの自然だより」はカンパとボランティアで支えられています。2009.3.15に設立された市民団体「ちょうふ環境市民会議」が自主発行しています。調布市内の身近な自然情報や市民の保全活動の記録、環境イベント案内、コラムなどを掲載、無料で配布しています。

発行：ちょうふ環境市民会議 連絡先：info@chofu-kankyo-shimin.org

“自然だより”の置き場所

- ◆地域福祉センター、たづくり 11Fみんなの広場、調布市環境部(市役所8F)、あくろす 2・3F、郷土博物館、実篤記念館、多摩川自然情報館のほか、神代植物公園植物多様性センター、野菜食堂みさと屋(布田)、ニワコヤ(仙川)、など。置き場所&応援カンパ募集中です！
- ◆サポーター会員募集！
年会費 500円 郵便振替(00150-9-765663 ちょうふ環境市民会議)

※携帯メールでのお問合せには当方の返信が届かない場合があります。

◆この自然だよりは ちょうふ環境市民会議ホームページにも掲載、バックナンバーもご覧になれます。◆